

五戸総合病院外科での専門研修を終えて

八戸市立市民病院 外科後期研修医 益子 隆太郎

私は2020年4月から6月まで五戸総合病院外科で専門医研修として研鑽を積みさせていただきました。外科医として外部の病院で勤務するのは初めてのことであったので不安で一杯でしたが、安藤院長をはじめとしてスタッフの方々にとってもよくしていただき研修がととても充実しました。

外科では自分も一人の常勤医としての仕事を任せられて診療にあたっていました。ただ自分は外科医としては駆け出しで満足に診療ができずに周囲に迷惑をかけてしまっていたと思います。コロナの影響で患者さんも少なく手術件数も減少してはいましたが、外来診療や訪問診療、学校健診など今まで行ってこなかったことを行う中で様々なことを学びました。外科は手術がメインになりますが、今日の前にいる患者さんは果たして手術の適応があるのか、あるにしてもどのような手術がいいのかといったことをしっかりと考えてそれぞれに合った治療法を選択しなければならないこと診療を通して痛感しました。手術手技を習得することは非常に重要なことですが、それと同じくらい手術に至るまでのプロセスは重要と思いました。手術内容に関しては患者さんの負担が少しでも軽くなるように内視鏡手術が盛んに行われていました。地方の病院でも先進医療が受けられることに大変驚きました。

五戸総合病院は都市部の病院と異なり地域医療の中核を担う病院です。外科では他の病院であれば他科が診療するような疾患も診ます。外科がこの地域で担う役割は幅広く、様々な知識が要求されます。その中で勤務することは自分にとって非常に有意義でありました。今後自分自身がどのような病院で働くかはわかりませんが、五戸総合病院で学んだことは必ず活かせると思っています。

最後になりますが安藤院長、外科土屋先生をはじめとして病院スタッフの方々には3ヶ月間大変お世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。